

●市で実施している認知症支援事業



①高齢者等SOSネットワーク **不安になったらまずは申請・登録！**

認知症で徘徊の恐れのある方の特徴や顔写真を事前に市に登録し、警察署・地区自治会長・民生委員などと共有します。

もし行方が分からなくなった場合には、登録した情報を関係者にも共有し、捜索などに活用します。無料で登録できますので長寿課に申請してください。

②認知症サポーター養成講座 **認知症について学びたい！**

認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を見守り支援する方を増やすために講座を開催しています。認知症の症状や対応方法などについて、寸劇なども交えながら分かりやすくお伝えします。

受講者の方には「サポーターカード」をお渡しします。



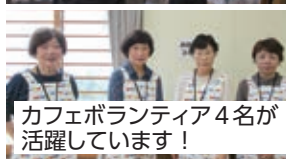
③オレンジカフェ **交流や居場所がほしい！**

認知症の方やご家族の方、地域の方が集まって交流する場です。認知症の方もそうでない方も、どなたでも参加できます。

【内容】

- ・お茶を飲みながらのおしゃべりや脳トレ。
- ・みんなで懐かしの歌を歌う、簡単な体操をする。
- ・認知症に関する相談など。

※イベントを行う回もあります（日時は27ページ）。



カフェボランティア4名が活躍しています！

④認知症家族のつどい **同じ立場の人と情報交換したい！**

認知症の方を介護されている家族が集い、介護の悩みや相談、情報共有などを行う交流の場で、認知症の方も一緒に参加することができます。

介護経験者の方も参加していますので、さまざまなお話を聞くことができます（日時は27ページ）。

認知症に関するご相談は地域包括支援センターへ

地域包括支援センターは「高齢者に関することの総合相談窓口」です。認知症に関するご相談も受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

☎長寿課 ☎22-1361 地域包括支援センター ☎22-1466

9月は世界アルツハイマー月間（認知症月間） 9月21日は「認知症の日」です ～地域でのあたたかい見守りと理解を広めよう～

●認知症とは？

認知症は、誰もがなる可能性のある病気です。

認知症と診断されたとしても、突然何もできなくなるわけではありません。

できること、苦手になることは人それぞれです。診断後も地域の中で周囲の力を借りながら自力で生活し、活躍されている方も多くいます。

●認知症の症状はさまざまです（あなたもチェックしてみましょう）

- ☐物忘れがひどい ☐判断・理解力が衰える ☐時間・場所がわからない
☐人柄が変わる ☐不安感が強い ☐意欲がなくなる など
(公益社団法人 認知症の人と家族の会「認知症早期発見のめやす」より一部抜粋)

※普段は家の外に出ない方も、何かのきっかけで外へ出かけ、場所が分からなくなってしまうこともあります。

●認知症に係る行方不明者数

令和7年度の認知症行方不明者数は全国で17,345人と高い水準が続いています。所在確認などができた方の約半数は地域住民などの通報がきっかけとなって発見されています。 出典：警察庁「令和7年における行方不明受理等の状況」

認知症の方が住み慣れた地域で安心して安全に暮らし続けるためには、ご家族だけでなく、地域での見守りなどのネットワークが大切です。

..... 認知症の方との関わりのポイント

